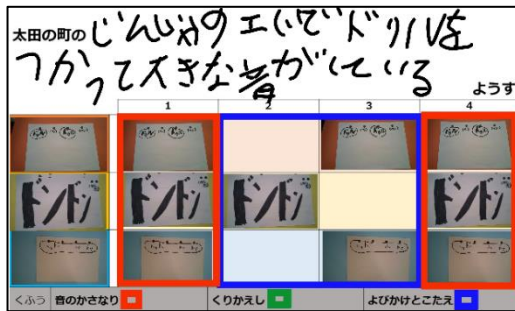


学習活動名	さがして つくろう
学年	第2学年
目標	身の回りの音を表現した声を組み合わせて音楽をつくる活動を通して、音の重ね方や反復の仕方を考え、思いをもって表現を工夫する。
教材タイプ	アンプラグド
使用教材	SKYMENU Class「発表ノート」
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童35人で11台の端末を使用（3～4人に1台）</li> <li>教師用端末1台、提示機1台、電子黒板、プリンター</li> </ul>
都道府県	香川県
実施校	高松市立太田小学校
学習活動の概要・児童の様子	<p>身の回りの様々な音（水の音、車の音など。生活科の町探検と教科等横断的に扱った）を、3人組で組み合わせて一まとまりの音楽をつくった（下図の表は事前に教師が作成。縦に3人分の音が並び、横に4小節伸びている。各児童が担当する音は、紙にオノマトペで記して図形楽譜とし、カメラで撮影、複数コピーしてある）。</p> <p>① グループで、表したい町の様子や、「音の重なり」「繰り返し」「呼びかけとこたえ」といった工夫の効果を踏まえながら、各自の音を組み合わせた音楽をつくる。</p> <p>② 電子黒板で共有し、よさや面白さについて話し合う。</p> <p>③ 学んだことをもとに自分のグループの表現を振り返り、改善や練習を行う。特に、全体交流の中で発表したグループの表を印刷して黒板に貼っておくことで、各グループの音楽を改善する際に参考にしやすくする。</p>



成果と課題

**【成果】** タブレット端末を活用することで、枠の用意や図形のコピーといった準備が簡単になったり、工夫した音楽の組合せを試行錯誤しやすくなったりした。

**【課題】** 4小節よりも長い音楽をつくりたいという創意が出にくいなど、アナログとの使い分けが問われる。今後は、アンプラグドからパソコン（ビジュアル言語）を活用した学習につなげるなど、目標や児童の姿に応じて適切な手段を選ぶ。